

終戦70年 体験を語る

⑩

敗戦時、中国や南方戦線など海外に残された軍人や民間人は約660万人。日本への集団引き揚げは14年間行われた。しかし、帰国することなく、生死もわからぬまま「戦時死亡宣告」によって戸籍から抹消された人も多い。夫の帰還を信じ、引き揚げ船が入るたびに港で待ち続けた尾崎利子さん（95、京都府宮津市・仏性寺門徒、大阪府藤井寺市在住）を訪ねた。

新生活は わずか20日間

いました。そして、新しい結婚生活でした。あ京（現在の長春市）での当時は仕方がないこと4月17日、伊津野勲さんとだと思っていました。昭和20年3月末のこんなと祝言を挙げましたが、後になってみれば、とです。結婚するため、た。しかし5月7日、夫と過ごした大切な大義父と一緒に婚約者が、夫に召集令状が届いた切な20日間でした。待つ中国・満州に向かのです。わずか20日間 戦況が悪化し、義父



尾崎利子さんと伊津野勲さんの結婚式の写真。しかし、このあとすぐ勲さんに召集令状が届き、夫婦で一緒に過ごしたのはわずか20日間だった

引き揚げ船入るたび港に 信じた夫の帰還 1枚の告知書で戸籍抹消

くの人が倒れ亡くなった。身を潜めてきました。身を潜めながら、何とか生き延び、義父たちと日本への引き揚げ船に乗れたのは昭和21年7月末でした。8月13日に博多港に着き、京都の地を踏んだのは8月20日でした。夫が先に帰還していることを信じていました。いや願っていません。でも、現実はずい

夫の消息を 尋ねる日々

何の手がかりもないまま、夫の消息を尋ねて回ることには明け暮れました。京都駅に引き揚げ列車が着くと聞く、朝にたくさん弁当を作り、プラットホームに入れてもらいました。列車の窓ごとに弁当を配りながら、夫の部隊名「歩兵90連隊（満181部隊）」（通称「凧20008」）を書いた紙を見せながら消息を尋ねました。わらにもずがる思いでした。夜にしょんぼりと帰ってくる私を、家族は黙って迎えてくれる、そ

開拓団で残されたのは女性と子どもばかり。極寒と食糧難で多

んな毎日でした。私と同じような境遇の人は全国各地にいました。そして、未帰還者です。昭和26年7月、白紙発足し、私もいろんな引き揚げ運動に参加しました。友人が経営する大阪の学校に勤めながら、政府に働きかけました。しかし、

大阪府藤井寺市

尾崎 利子さん



夫の遺書や戦地からの写真、「死亡告知書」、結婚当時の写真などを前に、苦勞を振り返る尾崎利子さん

8日後、吉田茂総理からの「条約に捕虜問題を加える」という通達を受け取りました。

未帰還者の 留守家族会

これを機会に、大阪で未帰還者留守家族会を結成しました。中国やソ連から引き揚げ船が入港するという新聞記事を見ては、舞鶴港へ、時には東北までも



めぐみ会 尾崎さんは、本願寺派関係の未帰還者の妻で組織した「めぐみ会」の副会長を務めた。同会は昭和33年、勝如上人（大谷光照師）の妹、近衛正子さまを会長に迎え、発会式には滋賀、京都、大阪の未帰還者の妻11人が本山の飛雲閣に集まった。戦没者追悼行事、共済制度の創設、大阪の津村別院で法話会を毎月開くなど積極的に活動を展開した。昭和62年には発足30周年で大谷本廟に記念碑（写真）を建立、会員は130人を超えた時もあったが平成24年に活動を休止した。

出かけた。引き揚げ者のお世話をし、兵隊さんの顔を一人一人のぞいては、夫の消息を聞きまわりました。しかし、夫の姿はあてい

りませんでした。政府は「戦時死亡宣告」という特別措置法を受け取るべきか悩むへと動きだし、昭和33年、夫の戸籍を抹消すると迫ってきました。

突然の赤紙1枚で召集されたから13年。昭和20年8月12日、中ソを、なぜ私が判断して国境付近で消息が途絶えてしまったか。悔しくて、悲し

が不明のまま、一日千回、決心がつきませ

秋の思いで待ち続けた。私たちが家族。それなの

に消息不明の者はみな

「戦時死亡宣告」という法律で片付けようとしたとある人に諭され

「どこかで生きてはる」と思えてなりません。今の世の中の動きは刻一刻と変化しています

「体験を語り継ぐ」来年2月から連載

白木の箱に 頭髪と爪

戦死の公報を受け取りました。夫の戦死した日は「8月15日」と記載されていました。白木の箱に夫が出征した時に切り取った頭髪と爪を入れました。

昭和45年に縁あって再婚した後も活動を続けました。そして平成18年、京都府宮津市に私と同じ境遇の女性たちと一緒に暮らせる施設「千代の会 恵の苑」を建てました。

来年2月1日号から「体験を語り継ぐ」来年2月から連載

は、戦争体験を次代へと継承する姿を紹介し

「体験を語り継ぐ」来年2月から連載

「体験を語り継ぐ」来年2月から連載

「体験を語り継ぐ」来年2月から連載

◇ 終わり ◇